

1

古河電工環境基本方針

1. 基本理念

古河電工は地球環境の保全が社会の最重要課題の一つであることを認識し、企業活動のあらゆる面で環境保全

に配慮して行動し、明るく豊かで、持続可能な発展のできる社会の実現に貢献する。

2. 行動方針

企業活動が地球環境に与える影響を常に認識して行動し、環境保全活動の継続的な向上を図る。

国、地方自治体などの環境規制を遵守するとともに、必要に応じて自主的な基準や環境目的・環境目標を設けて活動する。

研究・開発・設計の各段階から環境影響に十分配慮し、環境保全に適合した製品の提供に努める。

製造・流通・据付けなどの各段階において、省資源・省エネルギー・リサイクル・廃棄物および環境負荷物質の削減に取り組む。

環境マネジメントシステムなど、環境保全活動の推進に必要な組織・制度を構築する。

環境保全に関する従業員への教育および広報活動などを実施し、環境基本方針の理解と環境保全に対する意識の向上を図る。

(1998年1月5日制定)

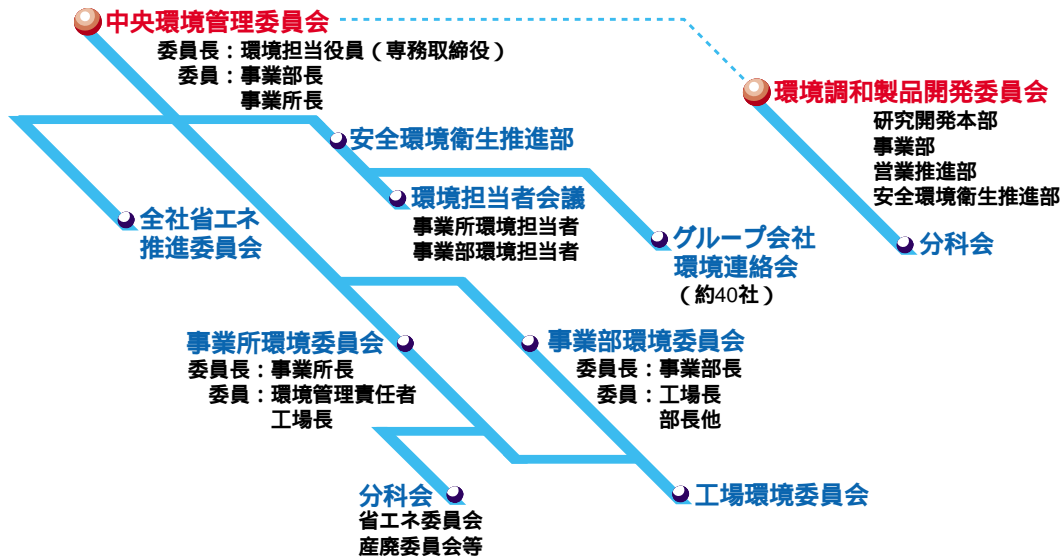
2

環境マネジメントシステム

1. 取り組み経緯

1972年	公害防止全社規程制定	1998年	三重事業所で ISO14001 認証取得
1974年	環境管理室設置 省エネルギー活動チーム発足		公害防止全社規程を改訂し、全社環境管理規程を制定
1989年	特定フロン使用削減チーム発足 1992年にオゾン層破壊物質使用削減チームに改称	1999年	安全環境衛生推進部を発足させ、環境管理室および安全衛生管理部門を統合
1993年	「地球環境保全に関する基本的な考え」の策定 (環境に関する古河電工のボランティアプラン)	2000年	環境・エネルギー研究所を設立 グループ会社環境連絡会(年2回定期開催)を設立
1994年	全社省エネルギー推進委員会を設立		環境報告書2000を発行
1996年	特定フロン、トリクロロエタン全廃		環境担当者会議を設立
1997年	産業廃棄物削減推進チーム発足		平塚事業所で ISO14001 認証取得
1998年	古河電工環境基本方針を制定 中央環境管理委員会を設立 環境調和製品開発委員会を設立 千葉事業所で ISO14001 認証取得		蒲原事業所で ISO14001 認証取得 大阪事業所で ISO14001 認証取得
		2001年	環境報告書2001を発行

2. 全社環境保全体制



3. ISO14001認証取得状況

当社は、早くから環境マネジメントシステムの重要性を認識し、独自の仕組みを構築してきましたが、国際規格の制定を機にISO14001環境マネジメントシステム(EMS)の認証取得に取り組みました。

千葉、三重の2事業所は1998年に認証を取得しましたが、この2事業所は光部品、電線・ケーブル製造、アルミ加工、自動車関連部品および伸銅品等の生産品種が多岐にわたる大規模複合事業所でした。これらの事業所での認

証取得実績を基に、2000年度には3事業所で認証を取得しました。引き続き2001年度に3事業所、2002年度までに全ての事業所で認証取得すべく全社展開を行なっています。

4. 社内環境監査

全社的な環境マネジメントシステムの取り組みの一環として、安全環境衛生推進部による全事業所の環境監査を年2回実施し、各事業所における全社環境保全活動の達成状況や環境課題への取り組み状況のチェック等、全社的な環境マネジメントシステムの継続的な改善を図っています。

5. グループ会社への環境保全活動支援

環境保全活動はグループ会社として一体的な取り組みが必要であるとの考えから、2000年6月に当社のグループ会社との連絡会(年2回)を発足させ、最近の環境関連法規の確認やグループ会社における環境活動状況の把握、環境課題の共有化や環境技術の紹介等を実施しています。今後、個別課題への対応を含めてグループ全体での環境活動のレベルアップを目指します。

認証取得年度	事業所・研究所	認証機関	認証番号
1998年度	千葉事業所	DNV	EMSC-1208
	三重事業所	JACO	EC98J1097
2000年度	平塚事業所	DNV	EMSC-1699
	蒲原事業所	JSA	JSAE315
	大阪事業所	DNV	EMSC-1114
2001年度	品川事業所	EMS構築中	
	日光事業所(清滝地区)	"	
	福井事業所	"	
2002年度	日光事業所(製板工場)	"	
	滋賀事業所	"	
	小山事業所	"	
	横浜研究所	"	